

〈周術期に注意を要する薬剤〉

| 分類 | 商品名 | | 一般名 | 休薬の目安 | 出典 |
|------------|-----------------|----------|--------------|---|--|
| | 院内採用 | 院外専用 | | | |
| 免疫抑制剤 | イムラン | アザニン | アザチオプリン | メーカーに問い合わせるが情報なし | メーカー・DI情報 |
| | なし | プレディニン | ミゾリピン | メーカーに問い合わせるが情報なし | メーカー・DI情報 |
| | セルセプト | | ミコフェノール酸 | 原則休薬しない | メーカー・DI情報 |
| | タクロリムス プログラフ | | タクロリムス | ①Dr.の54%が休薬(術前3~15日)、再開は(術後5~15日) ②大きな手術は1週間前に休薬。小さな手術は服用後48時間以内でなければ手術可能(服用後48時間は血中濃度高くなる為手術を控える) 術後は1~2週間休薬する | ①日本整形外科学会 (整形外科医へのアンケート) ②日本リウマチ財団ニュース |
| | なし | プラケニル | ヒドロキシクロキシン | 創傷治癒遅延なし、休薬なし | 抗リウマチ薬の周術期の休薬に関する総説 |
| | シクロスポリン | ネオール | シクロスポリン | 可能ならば休薬してほしい(1週間前)、再開は患者の状態による | メーカー・DI情報 |
| | メトトレキサート | リウマトレックス | メトトレキサート | ①大きな手術は1週間前に休薬。小さな手術は服用後48時間以内でなければ手術可能(服用後48時間は血中濃度高くなる為手術を控える) 術後は1~2週間休薬する ②整形外科予定の手術の場合継続投与する。整形外科以外の手術や、MTX12mg/週超の高用量投与と患者の場合は、個々の症例によって判断する | ①日本リウマチ財団ニュース ②MTX診療ガイドライン2016年版 |
| 生物由来製品 | アクテムラ | | トシズマブ | 点滴静注(前後 3-4週)、皮下注(24日間) | メーカー・DI情報 |
| | シンボニー | | ゴリムマブ | 関節リウマチ、潰瘍性大腸炎に関して原則休薬必要ないが、Dr.の判断にまかせるとのこと | メーカー・DI情報 |
| | ヒュミラ | | アダリムマブ | メーカーの情報・データなし。本剤使用後少なくとも、2週あけて手術が望ましい | 関節RAガイドライン |
| | なし | エンブレル | エタネルセプト | ①休薬は推奨されるが、休薬期間の目安はない ②エンブレルを週1-2回定期的に使用しているPtの場合は最終投与から2週後に手術可。 術後リスク(感染)がなければ2週間には再開 ③1回投与分を休薬してから手術する。 感染リスクが高い場合は半減期(約80 hr)の3-5倍(10-16日)休薬してから2週後に再開 | ①RAIに対するTNF阻害薬使用ガイドライン ②米国リウマチ学会 ③イギリスRA学会ガイドライン |
| | レミケード | | インフリキシマブ | 休薬期間はないが、海外のガイドラインによると4週間前 | メーカー・DI情報 |
| | オレンシア | | アバセプト | 休薬期間はないが、関節リウマチに使用する際、半減期10日間のため一定の間隔を考慮する(創傷治癒が生じるため) | メーカー・DI情報 |
| | 特定生物由来製品 | 献血ベニロンI | なし | 人免疫グロブリン | ITPのとき手術5-7日前推奨 |
| アコアラ | | なし | アンチロピンγ | 健常人と差がないため休薬なし | メーカー・DI情報 |
| 献血ノンズロン | | なし | 人アンチロピンIII | 休薬期間規定なし | メーカー・DI情報 |
| ハプトグロビン | | なし | 人ハプトグロビン | | |
| 抗D人免疫グロブリン | | なし | 抗D人免疫グロブリン | | |
| テタノブリン-IH | | なし | 破傷風抗毒素 | | |
| ベタフェロン | | なし | インターフェロンβ 1b | 骨髄抑制などDr.の判断による | メーカー・DI情報 |
| アブラキサン | なし | バクリタキセル | | | |
| ステロイド | | | | メーカーに問い合わせたが、情報なし | 書籍:事前指示薬の周術期の薬の中止・再開(エキスパートナース) |